

より良い景観検討のためのカルテ（チェックシート）

記入年月日： 令和4年 2月 22日

チェック担当課：公共施設マネジメント課

事業の概要	
事業名	郷土館旧平安邸耐震補強等改修事業
事業個所・対象地	下財町
事業期間	令和1年度～未定
事業の対象となる 公共施設等	道路 橋梁 河川・水路 公園・緑地 公共建築物等
事業に含まれる要素 (個別指針より)	法面・斜面 擁壁 護岸 舗装 付属施設(防護柵、公共 サイン) 建築物
構想・計画段階(各事業共通)	
項目1	景観形成の指針を把握する。
項目2	共通指針(全体指針A-1～A-5、B-1～B-5)の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮する事項を記入する。
(例) B-3	(例) 歴史・文化的背景を考慮するため、現地調査を実施する。
A-4	国登録有形文化財・兵庫県景観形成重要建築物であり、建物の劣化・耐震診断を行い、その結果等に基づき修繕改修計画を策定する。
A-5	川西市文化財審議委員会の意見を聴取し、修繕改修計画案を作成する。

設計・施工段階 / 公共建築物等		
基本指針、共通指針、景観類型別指針を踏まえた「より良い景観検討のための景観配慮事項」への対応と、具体的に配慮・検討した内容を記入する。		
✓	より良い景観検討のための配慮事項	配慮・検討した内容
☑	歴史的建造物の保全に配慮し、必要に応じ、複合的に活用した計画を探る。	歴史的建造物の保全に配慮し、バリアフリー等の要素を含め複合的に活用した計画とする。
☑	<p>形態・意匠・色彩（デザイン）は、地域の伝統的な素材や色彩の活用に配慮した計画を探る。</p> <p>【具体的配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落内の建築物や伝統的なまち並みにおいては、瓦屋根や板張り、しっくい壁の白色、土壁や木材等に見られる薄いベージュ色、和瓦に見られる銀ねず色等と同じ材料、素材を用いることで、周囲のまち並みとも調和しやすくなるため、同類の材料や同系色の色彩を積極的に使用する。 ・ただし、大規模建築物などの大きな壁面で白色を用いると、周囲から際立ってしまい、不調和になることがあるので注意が必要。 ・彩度の基準（景観形成基準） R,YR系6以下、Y系4以下、その他2以下 	川西市文化財審議委員会の意見を聴取し、改修計画を検討中。
	<p>植栽は、敷地内・外からの見え方を意識した樹種の選定・配植を検討する。</p> <p>【具体的配慮事項】</p> <p>規模に応じて、県条例・開発指導要綱の緑地面積を確保</p>	（事業対象外）
☑	柵・フェンス等は、閉鎖的にならない意匠・色彩を検討する。	検討中
☑	施設名表示や案内板等のデザイン統一化を検討するとともに、シンプルで控えめなデザインを検討する。	検討中